



食の安全を中心とした取り組み

CSR報告書 2021

目次 Contents

編集方針	2
企業理念／ステークホルダー／SDGs	3
トップメッセージ	4
会社概要	5

お客様とともに

食の安全への取り組み	6
お客様とともに	9

地域・社会とともに

お客様とのコミュニケーション活動	10
不二家ファミリー文化研究所	11

株主・投資家の皆様とともに

株主・投資家の皆様とともに	12
---------------	----

お取引先とともに

お取引先とともに	13
----------	----

従業員とともに

人材育成	14
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) への取り組み	18

環境活動

環境方針／環境マネジメント	19
事業活動のマテリアルバランス	21
地球温暖化防止／低炭素社会	22
循環型社会の実現	23
環境保全活動／不二家ファミリー文化研究所の活動	24

経営マネジメント体制

コーポレートガバナンスと内部統制	25
コンプライアンスの推進／リスクマネジメント	26
不二家のあゆみ	27



編集方針

不二家では、「お客様」、「地域・社会」、「株主・投資家」、「お取引先」、「従業員」、「環境」の関わりについて、より多くの方にご報告することが、当社の果たすべきCSR(企業の社会的責任)であると考えています。2003年から環境報告書として、また2008年からはCSR報告書として毎年発行し、テーマごとに取り組み内容をご報告してきました。

本報告書では食品を製造しお届けする立場から、お客様の関心の高い「食の安全」を中心に具体的な取り組みについて報告しています。

● 報告対象範囲

本報告書では原則として不二家単体を報告対象範囲としています。

● 報告対象期間

2020年1月～2020年12月

※一部、当該期間外における取り組みが含まれています。

● 発行年月

2021年7月

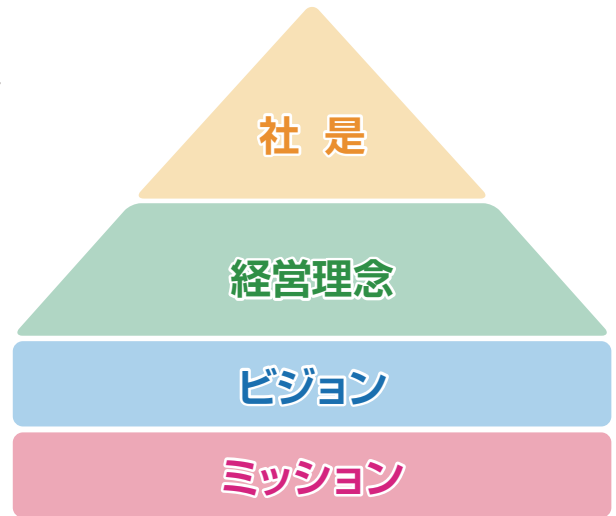
企業理念

社是 愛と誠心と感謝をこめてお客様に愛される不二家になります

経営理念 常により良い商品と最善のサービス(ベストクオリティ・ベストサービス)を通じて、お客様ご家族に、おいしさ、楽しさ、満足を提供する

ビジョン 世界のすべてのお客様に愛される企業を目指す

ミッション すべてを、「おかあさんの気持ち」で『ベストクオリティ・ベストサービス』を提供します



ステークホルダーとSDGs

不二家は、ステークホルダーの権利・立場や企業倫理を尊重する企業風土を醸成し、ステークホルダーとの健全な協働関係を構築することを目指しています。

SDGs(Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標)とは、2015年に国連が定めた持続的な開発に関する17の目標と169のターゲットのことで、国際社会共通の目標です。2030年までに貧困や飢餓、働きがいや経済成長、気候変動対策などの世界が抱える問題を解決するために、各国政府だけでなく、民間企業も日々の活動を通して取り組んでいくことが求められています。ここでは、ステークホルダーに関わる当社の取り組みのアイコンを掲載しています。

①お客様に対して

品質にこだわり、技術を磨き、チャレンジ精神をもって、最高の商品と最善のサービスを提供しています。職場環境は常に清潔を保ち、商品の安全確保のため一切の妥協を許さず、商品及びサービスに対するお客様のクレームをゼロにする運動を推進しています。



②地域社会に対して

良き企業市民として、健全な企業活動により収益を確保し、税金を公平に負担し、地域社会の発展に寄与しています。また、社会貢献活動に積極的に関与し、地域社会の子供たちが健やかに育ち、ご家族の絆が深まるように活動しています。さらに、「環境基本理念」及び「環境基本方針」に基づき、低炭素社会、循環型社会の実現に寄与する「地球にやさしい企業」を目指し、活動しています。



③株主に対して

全ての株主の権利及び平等性を実質的に確保し、健全な企業経営を推進することで企業価値を高め、利益を適正に還元することで受託者責任を果たし、株主との長期的な信頼関係の構築を図っています。

④取引先に対して

取引先に不当な要求はしない、取引先の不当な要求に屈しない。取引は常に公平かつ公正で、その内容は、顧客の創造、産業界の発展に寄与するものであることを目指しています。



⑤従業員に対して

一人ひとりを個人として尊重し、従業員の提案活動を歓迎する気風を醸成し、風通しの良い組織運営を推進しています。また、従業員の健康に配慮し、労働災害の撲滅を目指しています。さらに、平等な機会を保障し、公正な待遇を実現し、従業員が家族に対する責任を十分果たすことができるよう配慮しています。



▶ トップメッセージ

今、世界では新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が猛威を振るい、世界中が予測のつかない厳しい状況下にあります。1日も早い終息を願うとともに、罹患された皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、このような状況のなか感染拡大防止に向け、日々ご尽力いただいている医療機関をはじめ、保健・行政機関の皆様に深く敬意を表し、感謝申し上げます。

1910年に横浜元町で小さな洋菓子屋として創業してから111年、不二家は、お客様とともに時代の変化のなかを歩んでまいりました。

現在の不二家グループは、洋菓子事業だけでなく、製菓や飲料、外食事業などを展開し、海外事業へも積極的に取り組んでおります。事業領域がどのように広がろうとも、食品業を営む私たちにとって一番重要なのは「安全、安心な商品を提供すること」です。それなくては「食」を通じて、すべてのお客様においしさ、楽しさ、満足を提供するという経営理念を実現することはできません。国際的な衛生管理手法であるHACCPの導入をはじめ、事業の基盤である食品安全衛生管理を着実に実行しながら、「クレームゼロ」を目標にして業務に取り組んでおります。

また、私たちの事業が継続的に発展し、社会的な責任を果たしていくためには、従業員一人ひとりの意識と成長が必要です。不二家では、働き方改革に積極的に取り組み、労働災害の撲滅や、職場環境の改善などにも力をいれております。ペコちゃんに象徴されるような笑顔溢れる商品や、従業員の活動を通じて社会との交流を深め、親しみのある企業でありつづけることは、長期的には競争力を高めると考えています。

食の安全の確保、従業員の育成を基本としながら、不二家の価値ある商品を、世界中のお客様にお届けできるようチャレンジを続け、事業の発展を目指します。そして、同時に、資源の有効活用や環境保全に真摯に向き合い、持続可能な開発目標(SDGs)を含めた社会に共通の課題について、企業の責任を果たしてまいります。

本報告書を通じて、不二家の取り組みやその活動内容についてご理解いただくとともに、ご意見やご感想などをいただければ幸いです。



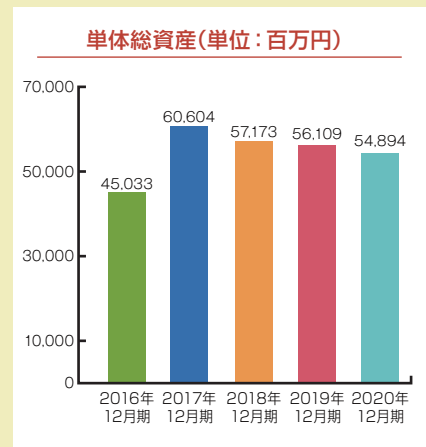
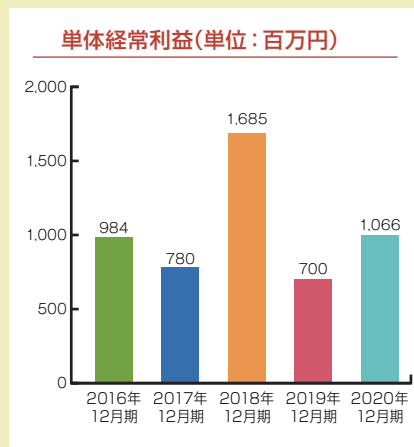
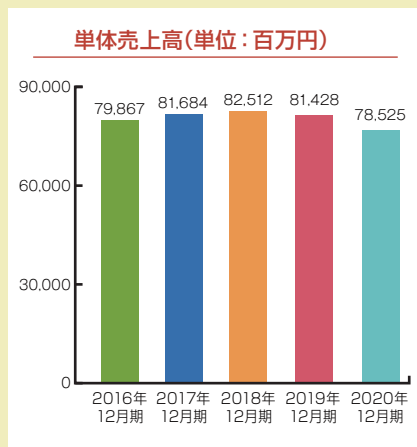
代表取締役会長
山田 憲典



代表取締役社長
河村 宣行

会社概要(2020年12月31日現在)

社名(商号)	株式会社不二家
本店所在地	〒112-0012 東京都文京区大塚二丁目15番6号
代表者	取締役会長 山田憲典 取締役社長 河村宣行
創業	1910年(明治43年)11月
設立年月日	1938年(昭和13年)6月
資本金	18,280百万円
従業員数	正社員1,172名
主要関係会社	山崎製パン株式会社、株式会社不二家フードサービス(※1)、株式会社ダロワイヨジャパン株式会社不二家東北、株式会社不二家神戸(※2)、不二家飲料果実株式会社、不二家乳業株式会社不二家(杭州)食品有限公司、株式会社不二家システムセンター、不二家テクノ株式会社 B-R サーティワン アイスクリーム株式会社、日本食材株式会社 (※1)2021年7月1日をもって吸収合併 (※2)2021年4月1日をもって株式会社スイートガーデンより社名変更
営業部・支店	東京、大阪、名古屋、福岡、仙台、札幌など全国の主要地
店舗	東京、横浜、名古屋、大阪、福岡、札幌など全国に951店舗
工場	秦野(神奈川県)、平塚(神奈川県)、富士裾野(静岡県)、野木(栃木県)、埼玉(埼玉県)、泉佐野(大阪府)、吉野ヶ里(佐賀県)、札幌(北海道)



事業内容

洋菓子事業	菓子事業
ケーキ、デザート、アイスクリームなど洋菓子類の製造販売、喫茶店及び飲食店の経営	チョコレート、キャンディ、クッキーなどの製造販売

※飲料は主に不二家飲料果実にて製造

※各商品などの詳細は、不二家ウェブサイトにてご覧いただけます。
不二家ウェブサイトURL <https://www.fujiya-peko.co.jp/>

その他事業

業務内容:キャラクターライセンス事業および不二家システムセンターの事務受託業務及び不動産の賃貸、管理など

お客様と不二家の信頼関係は、商品のおいしさと同時に、安全な品質の上に成り立っていると考えます。

商品のおいしさを追求するとともに、お客様に安心してお召し上がりいただける商品を提供する努力を、企業活動の最優先課題として取り組んでいます。

🔍 食の安全への取り組み

品質管理体制

不二家は、社長直轄の組織である食品安全衛生管理本部を中心に、常にお客様の視点に立ち、さらなる満足をご提供するため、食品安全に努めクレームゼロを目指しています。

食品安全への取り組みとして第一に、AIBやISO22000といった科学的根拠に立脚した食品管理システムを導入し、第二に、このシステムを有効に機能させるための安全衛生管理組織の確立を図り、第三に、システムを維持、運営、改善し、組織を活性化させる柱となる従業員教育を行っています。

2020年は、菓子製造3工場でISO22000 2年目サーベイランス審査を受審し認証継続、洋菓子製造5工場では、一般衛生管理に加えHACCPを包括したJFS-B規格を取得しました。さらに、2021年2月には、菓子製造3工場でISO22000更新審査を受審し認証が継続され、安全で安心な商品作りに取り組んでいます。

洋菓子店舗では、HACCPに沿った管理手法の制度化に向け、全店舗の従業員を対象とした定期的な衛生管理教育を実施しました。

食品安全衛生管理本部は「食品安全管理部」、「食品品質管理部」、「お客様サービス室」の3部門体制のもと、組織強化を図っています。

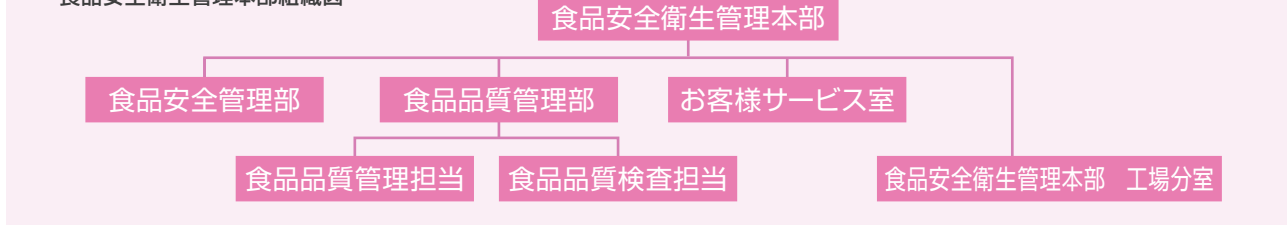
また、各工場に食品安全衛生管理本部の組織として分室を設置し、業務の独立性を高め、チェック機能を強化するとともに、冷蔵庫・冷凍庫温度の自動記録管理システムの導入など設備の充実や人員の強化を行っています。

フードディフェンス（食品防御）とは①



2020年フードディフェンス教育資料

食品安全衛生管理本部組織図



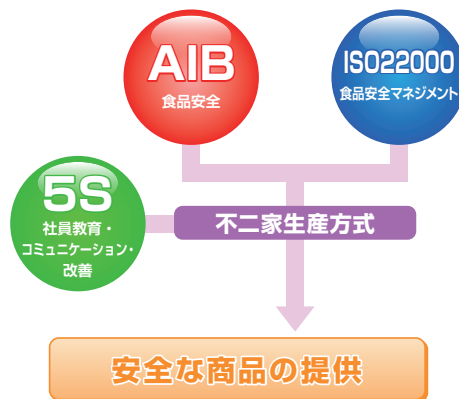
クレームゼロを目指す取り組み 不二家生産方式

不二家ではクレームゼロを目指すために、経営陣の強い意志のもと、次の3つに取り組んでいます。

- ①健全で安全な食品を提供するための「AIB国際検査統合基準」に基づくAIBフードセーフティへの取り組み
- ②HACCPの管理手法を基本にお客様に安全な食品を提供するためのマネジメントシステムである「ISO22000」の運用*
- ③より安全で衛生的な生産環境作りのための、全員参加・全員活動の「本物の5S」への取り組み

これらの活動が工場において相互補完し、ひとつの「不二家生産方式」として統合・機能すべく、日々取り組んでいます。また、本社や店舗においても工場の取り組みを参考に活動し、クレームゼロを目指し、食品安全の維持・向上に努めています。

※ 菓子製造工場は、2018年4月にFSSC22000認証取得しました。



不二家におけるAIB(American Institute of Baking)フードセーフティの取り組みについて

不二家では2007年2月より、洋菓子製造5工場、菓子製造3工場のすべての工場でAIBフードセーフティに取り組んでいます。AIBフードセーフティとは、米国にあるAIB(米国製パン研究所)が食品安全衛生に関する法律・規則を基に独自に設定した「AIB国際検査統合基準」に則って、食品安全衛生管理を有効に機能させるために行う活動です。「AIB国際検査統合基準」には、原材料の入荷から製品の出荷までの安全性を確保するために、下記の5つのカテゴリーで構成されています。

①作業方法と従業員規範

製品が従業員や生産工程によって汚染されることを防ぐ方法を示しています。

②食品安全のためのメンテナンス

施設や設備が衛生上、及び食品安全上の危害を招かないように、最適な設計や保全方法を示しています。

③清掃活動

製品の汚染を回避するための清掃に関するガイドラインを示しています。

④総合的有害生物管理

有害生物(鼠族、昆虫類)による食品の汚染を避けるための管理方法を示しています。

⑤前提条件と食品安全プログラムの妥当性

前提条件プログラムを施設全体に一貫して実施していることを確実にするための基準を示しています。

各カテゴリーで守る事項が詳細に決められており、合わせると約100項目になります。

AIBでは、外部専門機関による監査があり、点数で評価されます。「AIB国際検査統合基準」の5つのカテゴリーが各200点の配点を持ち、総合評価として、1000点満点で採点されます。

不二家ではこの外部専門機関によるAIB監査を受け、全ての工場で合格を獲得しています。

また、毎年、監査を受けることで、AIB活動のレベルアップと工場の食品安全衛生管理の強化に努めています。2020年は、洋菓子製造5工場で監査を受け、同時にJFS-B規格を取得しました。2021年には、埼玉工場、野木工場、泉佐野工場で菓子製造工場同様、FSSC22000認証取得を目指しています。また、当社子会社不二家フードサービスのレストラン店舗についてもAIB監査を実施しています。



AIB/JFS-B監査(野木工場)の様子

さらに、継続的なAIBシステムを実行するため、2020年は、各工場で食品安全方針を立て、食品安全チームを結成しました。法制化に伴うHACCPの本格的な運用により、工場の食品安全管理体制がわかりやすく体系化されました。その他、各工場において毎月、「AIB国際検査統合基準」に適合しているか確認する自主検査を実施し、自主検査によって抽出された不適合箇所は、月1回開催する「食品安全衛生委員会」で改善進捗確認を行っています。その他、工場の職制や本部及び工場分室の社員に対し、知識教育による力量の向上や指導力の底上げに取り組んでいます。

ISO22000およびFSSC22000への取り組み

不二家菓子事業本部では、食品安全体制の更なる強化を目的として、食品安全マネジメントシステム(ISO22000)※1および食品安全システム認証(FSSC22000)※2を取得しました(2018年4月20日)。

食品安全マネジメントシステム(ISO22000)の適用範囲は菓子製造3工場だけでなく関連する本社部門も含んでおり、菓子事業本部全体で食品安全について考え、日々取り組んでいます。

全体マネジメントの運営や統括として、社長・各部門長などをメンバーとして食品安全チームを編成し、定期的にFMS会議※3を開催し、食品安全・製品品質に関する議論や各部門への指示がされています。

さらに工場では工場長・各部署長をメンバーとした食品安全工場チームを編成し、FSSC22000運営のほか、FMS会議での指示事項の徹底を行い、工場の活動に繋げることで、本社部門と工場が一体となった食品安全管理体制の構築を図っています。

認証を取得してからは、さらに効果的かつ実態に即した運用を行うため、システムの検診・更新を行っています。特に、昨年は新設備導入時のリスクアセスメント体制を強化し、生産開始前に潜在リスクを抽出し、対処してから生産することを徹底しています。

2021年2月には、認証取得後初となる認証更新審査を受審し、仕組みの定着状況や、変更時の対応について重点的に確認した結果、更新登録可の判定をいただきました。今後も、ISO22000、FSSC22000の活動を主軸に、皆様に絶対的に安心な製品をお届けできるよう努めてまいります。

※1 ISO22000適用範囲 菓子事業本部、食品安全衛生管理本部、秦野工場、平塚工場、富士裾野工場、輸出営業部、購買部、施設部[統括部、広域営業部、食品安全衛生管理本部 食品品質検査担当、洋菓子工場分室は除く]

※2 FSSC22000適用範囲 秦野工場、平塚工場、富士裾野工場

※3 FMS(Fujiya Management system)会議

食品安全品質方針

- (1) 当社はお客様に満足いただける、安全で品質のよい商品とサービスを提供します。
 - (2) 関連法規を守り、安全・安心な食品安全マネジメントシステムを確立し、運用します。
 - (3) 食品安全マネジメントシステムの有効性を担保するため、継続的な改善を行います。
 - (4) 食品安全教育を徹底し、食品安全意識の向上及び食品事故の発生防止に努めます。
 - (5) 風通しのよい企業風土を作り、社内及び外部関係者との積極的なコミュニケーションを図ります。
- 食品安全品質方針の達成のため、各部門の目標を設定し、レビューするとともに、全体に周知徹底します。

2019年3月26日

株式会社 不二家 代表取締役社長 河村 宣行



FSSC22000更新審査の様子



リスクアセスメント実施風景

Voice!

2018年に食品衛生法の一部改正が公布され、HACCPに沿った衛生管理が必須事項となった昨今、食品安全マネジメントシステムであるFSSC22000の注目がますます高まってきている。新規の会社様においても「FSSC22000は取得しているか？」と聞かれることが年々増えており、その効力はビジネスにおいて信頼性が高い証であると感じつつ、取消された時の失墜も計り知れない。お客様への信頼を得て、そして守るために、関連法規はもちろんのこと、FSSC22000を含む認証規格を守りつつ、世の中の変化に柔軟に対応し、安心安全な商品をお客様にお届けする。それが我々の責務であると常に心掛けなければならない。

食品安全衛生管理本部 秦野工場分室 Y.I.



「不二家食品安全の日」について

14年前の2007年1月に起きた一連の問題から、毎年1月11日を「不二家食品安全の日」と定めています。

不二家従業員一人ひとりがこの問題を忘れず、一連の問題を風化させることのないよう今一度振り返ることを目的として、2020年まで外部講師を招いた「式典」を、2021年は、1月21日(木)に「教育」に形を変えて行いました。この14年間で社員の平均年齢は大きく若返り、一連の問題を経験していない社員が多くなりました。これからもさらに増えていく中で、「不二家食品安全の日」を形式化せず、自分たちで考え参加する方式で実施しました。

今回は、食品安全衛生管理本部長が講師となり、「2007年行政からの嚴重注意—具体的な指摘事項とその原因、改善策について—」をテーマとして話をしました。当時、法律上の問題点はどこにあったのか、そして、そのためにどのような改善策を取ったのか、それは現在どの帳票で使われているのかなど、質問を交えて説明しました。また、作られたルールは安全・安心な商品を作るために必要なものであるという認識を持つこと、そして、そのルールを教える際には、なぜそのようなルールになっているのか理由をしっかりと教えること、ルールを外れた時のリスクを認識させることが大切であると従業員に伝えました。

一連の問題を教訓とし、「式典」から「教育」へと形を新たにするとともに、従業員一同「食の安全」への取り組みをさらに強化、継承してまいります。



講義前の社長の挨拶の様子



当日の工場の様子

コロナ対策により、本社と各工場をオンラインでつなぎました

防災への取り組み

不二家の防災の取り組みとして、「防火防災自主点検」及び「自衛消防訓練」を行っております。「防火防災自主点検」については、工場では年間2回の点検を行っており、消火設備の表示位置の確認や避難経路の確保、什器の転倒、転落防止対策等の基本的なチェックから始まり、燃焼設備周辺に可燃物等が置かれていないかのチェックや危険物の保管管理のチェック、従業員教育の有無、備蓄品のチェックなどについて防火と防災両方の視点において点検を行っております。

2020年度の本社ビルにおける防災の取り組みでは、コロナウイルス感染症拡大に配慮ながら参加者を絞り「池袋防災館」で自衛消防訓練の一環として、地震を想定した揺れを体験することや、煙の性質を学び煙の中で避難する体験、消火設備の取扱いに関する体験型の研修を行いました。

また、安否確認システムを導入し、従業員の速やかな安否確認が取れる体制作りや、防災カードを作成し配布をすることで従業員の防災に関する意識付けも図っています。



消火設備点検の様子

お客様とともに

お客様への情報発信

不二家ウェブサイトでは、お客様が必要としている情報を積極的に発信しています。

お客様に安全な商品をお届けするための取り組みをお伝えする「不二家の取り組み」や、お客様から数多く寄せられる質問を回答とともに掲載する「お客様窓口」など、コンテンツを充実させ、積極的な情報発信を行っています。

今後も、最新の情報をすばやくお客様にお届けできるよう努めていきます。



お客様からいただいた声

2020年1月から2020年12月の間に、お客様から17,323件のお問い合わせやご意見、ご指摘をいただきました。その内訳は、14,129件(81.6%)がお問い合わせ・ご意見であり、3,194件(18.4%)がご指摘事項(クレーム等)でした。

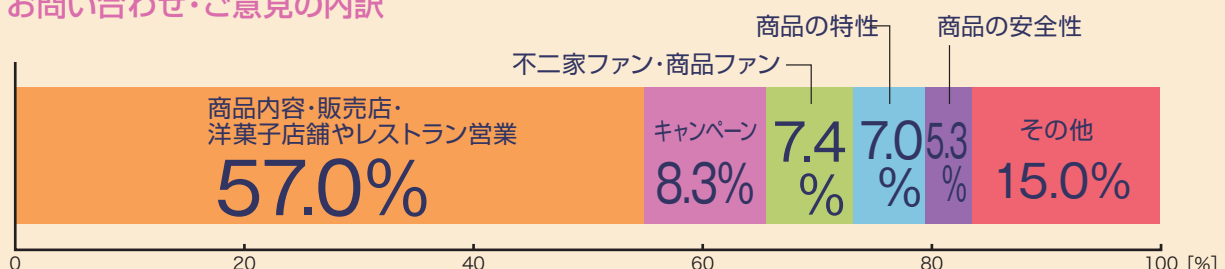
お問い合わせ・ご意見のうち、57.0%が商品内容や商品の販売店、洋菓子店舗やレストランの営業についてのお問い合わせであり、7.0%が商品の特性、5.3%が商品の安全性(アレルギーなど)に関するものでした。

お客様からのお問い合わせの多いキャンペーンなどについては、ウェブサイト内の情報ページにて随時公開しています。また、商品の特性(成分、カロリー情報など)については、ウェブサイト内の商品情報ページにて公開しています(洋菓子事業本部商品の一部を除く)。なお、洋菓子店舗では商品のプライスカードにアレルギー情報を掲載しています。

そのほか、フランチャイズオーナーの募集などについてのお問い合わせも数多くいただくため、ウェブサイトでは専用の「お問い合わせフォーム」を設置しています。

今後も、より幅広い情報提供ができるよう努力していきます。

お問い合わせ・ご意見の内訳



お客様とのコミュニケーション活動

ペコちゃんが行く！不二家キャラバン隊

「ペコちゃんが行く！不二家キャラバン隊」は、不二家が2010年に創業100周年を記念して開始しました。ペコちゃんがキャラバンカー「ペコちゃん号」に乗って、全国の幼稚園や保育園の児童施設を訪問し、クイズやペコちゃんダンスで園児とペコちゃんと一緒に楽しめるプログラムです。2020年1月、2月に3県10ヶ所の園を訪問しましたが、3月以降は新型コロナウイルス感染症(COVID-19)拡大防止の観点から、一時活動を休止しています。



ペコちゃん登場の様子

地域貢献

神奈川県児童相談所との取り組み

不二家は、改正児童福祉法等が施行され、子どもが安心して生活するために、子どもから大人まで幅広く体罰未然防止をしていく趣旨に賛同し、神奈川県児童相談所が広く普及啓発を行う児童虐待防止の取り組みに協力しています。

神奈川県児童相談所では、ペコちゃんを使用した啓発カードを作成し、夏休み前に学校を通じ小学校1～2年生を対象に約60,000枚配布しました。11月の児童虐待防止推進月間には、ペコちゃんのクリアファイルを作成し、平塚駅、辻堂駅にて配布しました。また、児童福祉施設入所中の児童を対象にペコちゃん粘土を寄贈しました。さらに、2021年3月にはペコちゃんと神奈川県PRキャラクター「かながわキンタロウ」がコラボし、子どもの気づき啓発紙芝居のPR動画を作成しました。2021年度は「ペコちゃんが行く！不二家キャラバン隊」と協働し、紙芝居読み聞かせ等も企画実施していく予定です。



子育てやしつけに困ったら



子ども家庭110番カード



かながわキンタロウとペコちゃんの紙芝居

医療従事者応援

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)と日々最前線で闘っている医療従事者の方々へ感謝の気持ちを込め、各工場では地域の医療施設等に菓子を寄贈しました。各工場の代表商品であるカントリーマアム、ルック、ホームパイをそれぞれ無償提供し、感謝状を頂戴しました。また、予定されていたイベント等が中止になったことで使わなくなった試供品を、学童保育施設等に提供しました。このような状況になり、改めてお菓子で人を笑顔にすることが我々の使命であると実感しています。



秦野赤十字病院より感謝状を拝受

熊本県豪雨災害への寄附

熊本県産原料を使用した秋の新商品「カントリーマアム(熊本県産球磨栗)」、「ルック(熊本県産利平栗&紅はるか)」、「ミルキー(熊本県産利平栗)袋」の売上の一部を、7月の豪雨災害被災者への支援として熊本県を通じ寄附しました。また、熊本県庁農林水産部を訪問し、お見舞い目録とともに、熊本県産原料を使用した菓子、洋菓子商品をお渡ししました。熊本県産原料を使用した商品を全国で発売したことは、生産者の方々の励みにもなったという嬉しいお言葉も頂戴しました。



熊本県竹内農林水産部長(左)に目録を進呈

不二家ファミリー文化研究所

【不二家ファミリー文化研究所とは】

不二家ファミリー文化研究所は、私たち不二家の「もっともっとファミリーの幸せに貢献していくためには何ができるだろう?」という想いから2003年4月に誕生しました。

テーマは「伝えていきたい自然 伝えていきたい家族の絆」。

自然から生み出される食材を扱う私たちにとって、言うまでもなく大切な「自然」を守っていくこと。そして、「ファミリーの不二家」という理念のもと、お菓子を通じて家族の幸せな時間を作るお手伝いをしてきたこと。それらのことを、今後も具体的に行動し伝えていくための研究所です。

【活動内容】

不二家ファミリー文化研究所は、「家族について考え、絆を深めていただけるきっかけ作りのお手伝い」や、「次世代に残していきたい自然や文化についての知識を、私たち自身が深め、伝える活動」「お菓子に対する興味喚起や情報の提供」などを行っています。

具体的な活動として、ウェブサイト「ペコちゃんの森」の運営や、長野県黒姫にある「ペコちゃんの森」の整備活動への参加、「食育」や「自然」、「家族の絆」をテーマにしたイベントの企画、運営及び支援をしています。

【ウェブサイト「ペコちゃんの森」】

不二家ファミリー文化研究所の設立とともに、ウェブサイト「ペコちゃんの森」(<https://www.fujiya-peko.co.jp/mori/>)を立ち上げています。

ウェブサイト「ペコちゃんの森」は、毎月25日に定期更新を行い、不二家ファミリー文化研究所が行うさまざまな活動を、楽しみながらご覧いただけるご報告の場になっています。また、お客様とのコミュニケーションの場としても活用しています。



ウェブサイト「ペコちゃんの森」コンテンツ

●親子イベントなどの公募

「食育」「自然」「家族の絆」などをテーマにしたイベントの紹介や参加募集の告知、全国の児童施設を訪問している「ペコちゃんが行く! 不二家キャラバン隊」の訪問先募集の告知などを行っています。

●「スマイル」をテーマにした川柳の募集

家族の絆を感じる出来事、笑顔になる家族とのエピソード、家族に起こった面白いハプニングなどを、川柳で募集しています。

●世界の文化についてのご紹介

「ERIKO&ペコちゃんの旅」では、モデル・定住旅行家のERIKOさんが、世界のさまざまな国・地域で、現地の人々の家庭で暮らし、その食文化や、生活習慣、季節のイベントや誕生日などのお祝いについて、ペコちゃんと一緒に、写真を交えて紹介しています。

●アンケート調査の実施

「家族」や「夫婦」、「日本の文化」など、さまざまなテーマを基にアンケート調査を実施し、調査結果を毎月ご紹介しています。

このほかにも、パソコンやスマートフォンでご利用いただけるペコちゃんの「壁紙カレンダー」の無料配信や、不二家ファミリー文化研究所が参加したイベントのご報告、黒姫のペコちゃんの森の様子なども、随時ご紹介しています。



株主・投資家の皆様とともに

IRツールによる情報開示

不二家はIRツールを使って、株主・投資家の皆様と綿密なコミュニケーションを図っています。各種IR情報を充実させるとともに、より見やすく、わかりやすい情報の提供に努めています。

IR情報

●ウェブサイト

<https://www.fujiya-peko.co.jp/company/ir/>
IR関連ニュースによる情報発信や財務ハイライトページなど、各種IR情報を充実させるとともに、より見やすく、わかりやすい情報の提供に努めています。



●報告書

事業活動の概況などに加え、不二家の新しい取り組みや新商品情報など、内容を充実させ、株主様のお手元にお届けしています。不二家ウェブサイトにも報告書を掲載しています。



株主優待制度

年1回の権利確定日※現在の株主様に対し、3月上旬に発送する「定時株主総会招集ご通知」に株主ご優待券を同封し、送付しています。

※権利確定日…毎年12月31日の最終の株主名簿に記載のある株主様

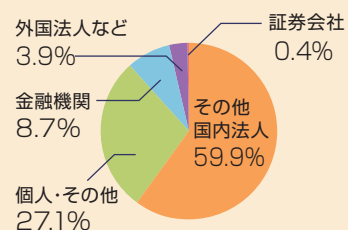


株主ご優待の基準及び内容

株主ご優待券は、当社グループ店舗(一部店舗除く)でご利用いただけます。株主様に当社商品をお試しいただき、ご意見などを承っております。

所有株式数	ご優待内容
100株から499株まで	株主ご優待券 500円券×6枚
500株から999株まで	株主ご優待券 500円券×8枚
1,000株以上	株主ご優待券 500円券×12枚

所有者別株式数



2020年12月31日現在

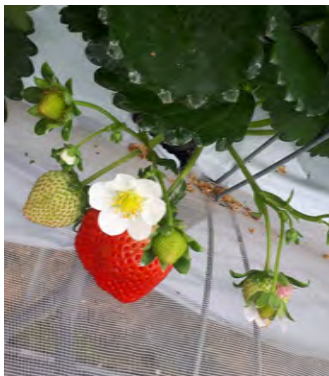
常により良い商品・サービスをお客様に提供し続けることを通じて、社会の発展に貢献したいと考えています。このために、次のような基本方針に沿って必要な原材料の購買活動を行っています。

購買基本方針

- (1) 私たちは公正で透明な取引を常に心がけ社会の発展に寄与します。
- (2) 企業活動に関わる全ての法令を遵守し、業務遂行に努めます。
- (3) お客様から満足していただける「安全と安心」への取り組みを行い、良質な原材料の安定供給に努めます。
- (4) お取引先に対しては、いかなる時も、誠実で公平な対応を心がけ、公正で自由な競争取引を推進し、品質・コスト・技術力などの総合評価を行い、お取引先を選定します。
- (5) 改善意欲を強く持ち、積極的に行動し日々の業務を遂行します。
- (6) 地球環境に配慮した購買活動に努めます。

現地現認

不二家では、こだわりの厳選素材、安全で安心な原材料を求め、産地に足を運び、現地現認に努めています。



苺(福岡)



茶(鹿児島)



栗(熊本)

持続可能な原料調達

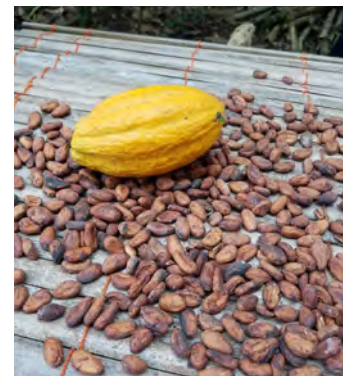
WCF(世界カカオ財団)に加盟

不二家はカカオ栽培農家への技術指導や教育支援活動、過酷な児童労働のない社会の実現に向けた各種プログラムを推進している活動に賛同し、WCFに加盟しています。



World Cocoa Foundation

※WCFはカカオ生産国において、持続可能なカカオ経済を促進し、経済的・社会的発展や環境保護を実現していくことを目的としています。



カカオ(ガーナ)

RSPO(持続可能なパーム油のための円卓会議)に加盟

不二家は、持続可能な原料調達を目指す取組みの一環として、RSPOに加盟しています。

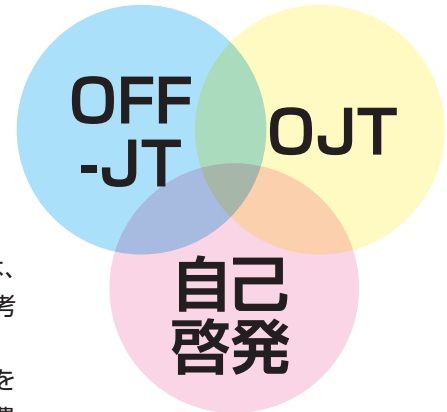
※RSPOは、パーム油生産企業、メーカー、小売、環境団体などにより設立された非営利の会員組織で、持続可能なパーム油の生産と利用を促進することを目的としています。

人材育成

不二家の人事制度の最重要ポイントは、「従業員がやりがいのある仕事に携わり、夢を実現させていくための仕組みづくり」です。従業員自身が働く中で「幸せ」を感じるからこそ、商品・サービスを通じてお客様に「幸せ」を提供することへの近道と考えています。不二家の人材育成の柱は次の3点です。

不二家 人材育成の柱

1. OFF-JT (OFF the Job Training): 集合研修
2. OJT (On the Job Training): 職場での実務
3. 自己啓発: 通信教育等



OFF-JT で学んだ知識を OJT で実践し、能力向上を図ります。OFF-JT では、学んだ知識を自分の職場にどのように当てはめて活用するのかを、グループで考え行動計画をつくります。

また、OFF-JT、OJT に加え、個々人の自己啓発を促し、自律した人材の育成を進めています。従業員には、通信教育を毎年2回案内しており、制度としてその費用の大部分を補助しています。

2020年は新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響により、Web会議システムを活用したオンライン型研修を導入しました。研修目的・テーマによって、オンラインでの実施内容・実施方法を検討し、「双方向でのコミュニケーション」を実現した効果的な研修の企画・実施に取り組みました。

【フォローアップ研修(集合研修)】

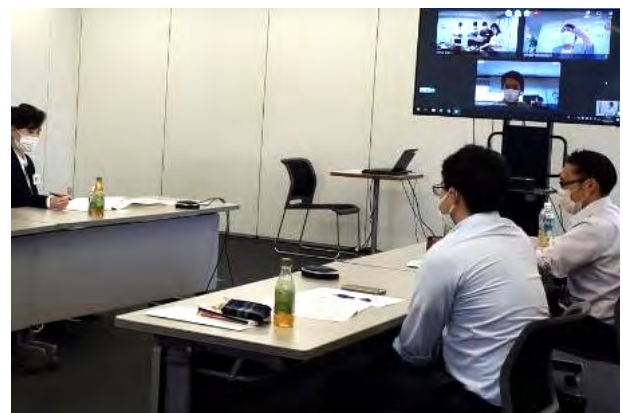
社内の世代交代が進む中、人材の早期育成が求められており、若手・新人教育を充実し、OJTをはじめ、コース・職種・役割・資格別に対応した教育プログラムを実施しています。

入社3年目までは、毎年「フォローアップ研修」を行っています。この研修では、仕事の基本行動・態度を習得するとともに、課題設定力、問題解決力、コミュニケーション力とチームワーク力について学び、会社の軸として活躍できる社員を養成します。また、研修効果を高めるため、研修時に作成した行動計画書をもとに、受講者の上司と連携し、定期的に確認するPDCAを回しています。

フォローアップ研修後は、昇格者対象の「ランクアップ研修」や「新任管理職研修」を実施しています。いずれの研修においても、これまでの自分を振り返り、今後のキャリアデザインを構築し、自己啓発を促す内容を含んでいます。



フォローアップ研修



OJTリーダー研修

人材活用

不二家の人材活用制度

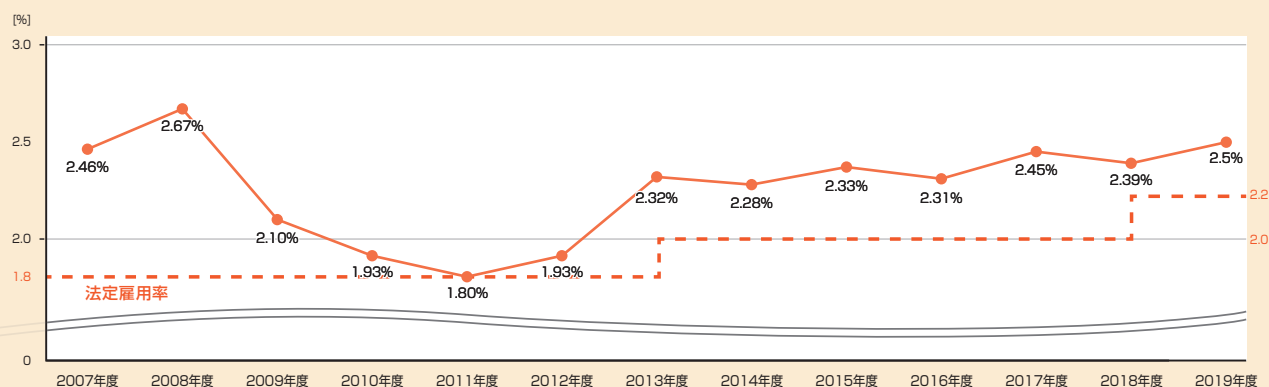
1. ジョブローテーション
2. 社内公募

ジョブローテーションは、入社数年後に1度異動し、複数の職場を経験することで、職務遂行能力の向上と広い視野の獲得を図るための制度です。社内公募は、事業部門が社内人材を募集した際に、個人が自由意思で応募し、選考のうえ、職場異動するものです。自己のキャリアアップに繋がりたい、新しい業務にチャレンジしたいといった意欲の高い人材の適正な配置と組織の活性化、従業員のモチベーションアップを図ることを目的とした制度です。

障がい者雇用

不二家は、全社を挙げて障がい者雇用に取り組んでおり、法定雇用率を上回る障がい者雇用数・雇用率を維持してきました。2018年度より、身体、知的に加え精神障がい者も算定基準に入り法定雇用率が2.2%となり、2021年3月からは2.3%となっていますが、当社の2019年度(2019年4月度～2020年3月度)の障がい者雇用率は2.5%であり、雇用者数は64人となっています。

障がい者雇用率表



育児と介護を支援

育児や介護を行う従業員が仕事と家庭を両立できるよう、育児介護を支援する制度を設けています。不二家での2020年度育児休業者は50名(うちパートナー社員15名)、短時間勤務制度利用者は40名でした。男性の育児休暇取得者は15名でした。時差勤務制度も導入しており、今後も制度利用を促進するためにさまざまな施策を講じていきます。

高齢者雇用

法的、社会的要請の観点からだけでなく、社員にとって魅力的でかつ働きがいがある会社であるために、定年退職までの豊富な経験と技術を持っている社員の再雇用を行っています。満60歳に達する社員の再雇用希望の有無や本人の勤務形態、勤務地などの労働条件の希望も考慮のうえ、本人が有するスキルに合致すると会社が判断した職務を提示し、合意の場合に継続雇用する「再雇用制度」(60歳定年後)を導入しています。2020年12月15日現在で77名が再雇用者として在籍しています。

労使協力関係

管理職及び経営に関わる部署の人員を除く全正社員が「不二家労働組合」に加入しています。労使間では、健全な企業経営と企業の持続的な発展を目指し、「労使協議会」「経営協議会」を開催し、経営側と組合側とが諸問題について忌憚のない意見交換を行っています。これにより、経営上の課題解決や人事労務関係の諸施策導入など、スピーディな対応を行っています。2020年度はコロナ禍における従業員の安全確保と新しい働き方などについて情報交換や意見交換を行い、働き方改革にも取り組みました。

労働安全衛生

不二家は、「お客様に安全な商品をお届けするためには、従業員の安全と健康に配慮し、全従業員が安心して働くことの出来る職場環境作りが不可欠である」との考えのもと、労働災害の防止に向けた施策を実施しています。

経営トップから強い意志が示され、全社的な労働安全衛生方針の策定や、安全対策の検討、情報共有などを行う「中央労働安全衛生委員会」を組織しています。また、全国の工場、営業所・支店、また直営店舗(エリア毎)には、中央労働安全衛生委員会の下部組織として「労働安全衛生委員会」を組織し、全社方針に基づきそれぞれの事業所の実態に即した安全衛生活動を検討、実施しています。

全社で、他事業所での安全活動や災害事例の情報共有・水平展開を行うことで、各事業所の労働安全衛生管理水準の底上げを図っています。併せて、年に1回、社内の労働安全衛生顧問と中央労働安全衛生委員による全国の工場巡回を実施しています。日頃から工場で勤務する従業員からの意見を吸い上げ、機械設備の安全化につなげていますが、工場巡回で第三者の視点から現場を確認することで、普段勤務していると気づきにくい危険箇所を抽出、本質安全化を検討し、計画的な改善につなげています。尚、工場巡回は、不二家グループ全体の労働安全衛生管理水準の向上のため、全8工場の他、関係会社(ダロワイヨ、不二家神戸(旧スイートガーデン)、不二家東北、不二家飲料果実、不二家乳業)に対しても実施いたしました。

また、外勤者の車両事故災害の撲滅を目指し、速度管理、運転管理の為にテレマティクス装着、自動ブレーキ搭載の社用車に切り替え、更に社用車に乗る前に専用機器を用いたアルコールチェック、免許証の有効期限確認を義務付けるとともに、繁忙期に向け、近隣の警察署にご協力いただき、交通安全講習会を実施しました。

●不二家労働安全衛生基本理念

「常に活力ある企業であるために、
社員の安全と健康の確保を第一とし、
働きやすく、快適な職場づくりを行います。」

- ①各事業所、本社各部が一体となり、安全教育・設備改善を確実に実施し、働きやすい職場づくりを推進する。
- ②長時間労働による健康障害防止を実施するとともに、職制を通じた健康管理、従業員の健康意識向上に繋がる施策を推進し、従業員の健康を守る。
- ③交通法規の遵守と安全運転・防衛運転を徹底し、交通事故・通勤災害の撲滅を図る。

2020年スローガン

「愛」を行動に！進めよう「快適安全な職場づくり」



工場安全巡回の様子

健康経営

従業員の健康は会社を成長させることにもつながり、当社にとって大切な財産です。経営トップによる健康経営宣言のもと、従業員の健康保持増進に取り組んでいます。

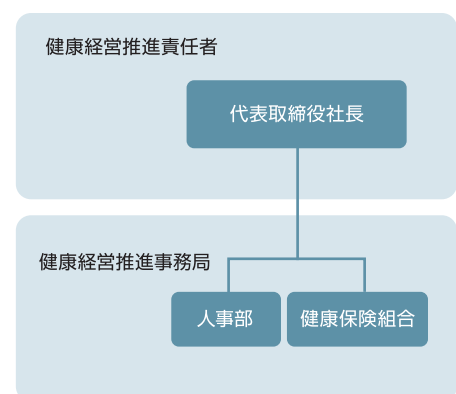
健康経営宣言

不二家の経営理念「常により良い商品と最善のサービス(ベストクオリティ・ベストサービス)を通じて、お客様ご家族に、おいしさ、楽しさ、満足を提供する」を果たしていくためには、従業員が個々に持っている能力を十分に発揮することが必要不可欠です。そして、そのためには、従業員が健康でいきいきと働くことが重要です。

不二家は、不二家労働組合、不二家健康保険組合と一体となって、従業員の健康と安全を組織で支える健康経営を推進し、健康の保持増進に取り組めます。

株式会社 不二家
代表取締役社長 河村 宣行

〈健康経営推進体制〉



人権

2019年は、12月の人権週間に合わせ、社内で従業員に向けた人権啓発イベント『不二家 人権ひろば』を開催しました。『不二家 人権ひろば』では、「人権」について学び、より良い職場・生活環境とは何かを考える機会とするため、展示物、VTR、体験コーナー等を設置しました。2020年は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染防止のため、イベントの開催は見送りましたが、人権に関する動画紹介等の案内を社内に発信するとともに、新入社員への人権研修、新任管理職への人権、ハラスメント防止研修を実施しました。引き続き、1人ひとりが人権について理解を深めるサポートを行い、多様な人材が活躍できる組織作りを目指してまいります。

社内情報の共有

不二家は、部署を越えて横断的に集めた社内若手メンバーを中心に小委員会を運営し、2種類の社内報を発行しています。

毎週金曜日に発行している週刊社内報「WEEKLY Sweeeet!!(ウィークリースウィート!!)」は、社内イントラネットに掲載。社内情報のいち早い共有を目的に、各事業部や、工場、本社部門に加え、不二家グループ各社の情報を毎週発信しています。新商品や新店舗、工場やエリアごとの取り組みやイベントなど、さまざまな情報を紹介しています。



「WEEKLY Sweeeet !!」



「Sweeeet!!」

年3回発行している冊子の社内報「Sweeeet!!(スウィート!!)」は、「今の不二家をみる! 明日の不二家を考える!!」をテーマに、経営層からの情報発信をはじめ、日常業務で役立つ企画や、新商品情報、従業員の趣味や意外な一面を紹介するコーナーなどバラエティに富んだコンテンツを掲載し、従業員間のコミュニケーションツールとしても活躍しています。



社内報編集ミーティングの様子

担当者の声



経営企画室
広報IR部 広報室
S.H

42号から社内報編集員に加わりました橋本です。「Sweeeet!!」は、工場や営業、生産部、購買部、経理部、総務人事部、広報室といったさまざまな部署の若手社員で、ページの企画、取材、編集を行っています。社内報という社員のコミュニケーション活性化ツールを作り上げる過程で、制作担当者自身も他部署の情報を知り、通常業務では接しない社員と接することで、コミュニケーションの向上を図っています。

さまざまな部署の情報をなるべく多く伝えるために、毎週金曜日に電子媒体の「WEEKLY Sweeeet!!」、年間3回紙媒体の社内報「Sweeeet!!」を発行しています。そこでは、より多くの社員に登場してもらい、生の声を届けることで、社内コミュニケーションのキッカケになれることを意識して制作しています。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)への取り組み

コロナで変わる働き方

不二家では、働き方改革の一環としてコロナ以前よりさまざまな取り組みが始まっていましたが、2020年4月に発出された緊急事態宣言以降、さらに大きく変わりました。ソーシャルディスタンスの確保や、3密を避けるために、全体朝礼や会議はオンライン中心になり、また、主に本社ではフリーアドレス化や在宅勤務、時差勤務の活用が進みました。出社率の削減にも取り組んでいます。



オンライン会議の様子



フリーアドレス化した本社6階フロア



オンラインでの打ち合わせの様子

新型コロナウイルス感染症対策本部

不二家では、2020年2月28日付で、河村社長を本部長とし「新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置しました。新型コロナウイルス感染症(COVID-19)への対策を総合的に推進するために発足され、感染拡大の状況や社会の動きに即し、都度本部より注意喚起、対策、指示などを発信しています。また、2020年6月には不二家の基本的な感染予防対策がまとめられた「新しい生活様式に基づく勤務ガイドライン」を発表し、感染拡大防止に取り組んでいます。

新しい生活様式に基づく勤務ガイドライン

勤務	<ul style="list-style-type: none"> ●出勤前に検温を行い37.2度以上の場合には出勤しない(職場での検温記録は継続) ●マスク、手洗い、うがい、咳エチケットなどの個人衛生管理を行う ●執務エリアの利用率を対策本部指示の基準以下にする ●社会的距離確保で1メートル以上空ける ●職場では共用部分のアルコール消毒をこまめに行う ●在宅勤務及び時差勤務を積極的に活用する(電車・エレベーター混雑回避)
出張・外出	<ul style="list-style-type: none"> ●国内出張は業務上必要ある場合に所属長許可のもと最小人数で行う ●海外渡航の原則禁止(外務省の海外安全ホームページを参照)
会議等	<ul style="list-style-type: none"> ●会議は原則Web会議システムを活用して分散型で開催(人の密集と移動を回避) ●会議室利用は間隔を広くとって着席し、ドアの開放など十分に換気を行う ●不要不急の社外集合セミナー、大規模会議への参加は原則禁止
その他	<ul style="list-style-type: none"> ●取引先との会食は業務上必要がある場合に限り、所属長許可のもと行う ●飲食仲間社内会食は自粛する ●私的食事は、出来る限り少人数(4名以内)、間隔を広くとり短時間で済ませる ●喫煙室の閉鎖及び禁煙は継続

2020年6月22日 新型コロナウイルス感染症対策本部

各事業部での取り組み

各事業部におきましても、職場に適した新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策を実施しています。また、在宅勤務に向かない店舗、工場等を除き、可能な限り出社人数の削減に努めています。

人事部

オンラインでの会社説明会や、WEBテスト、WEB面談を実施しました。



富士裾野工場

共有部分の消毒を強化し、見落としがちなローラーの取っ手まで定期的に消毒しています。



秦野工場

工場に入る前に毎日検温し、体温の記録を徹底し、体調管理には万全を期しています。



平塚工場

対面での食事を避けるため食堂のレイアウトを変更し、方向を向くようにしています。また、密を避けるため休憩時間をずらしています。



東京支店

休憩所を拡大し、仕切りを設け接触を減らして業務を行っています。Wi-Fi完備なので、どこでも仕事ができます。



近畿第一・第二支店

会議室やプレゼンルームに仕切り板を設置し、社員とお客様はもちろん、お客様同士の飛沫防止にも努めています。



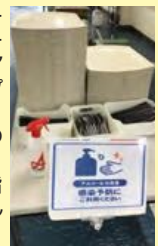
泉佐野工場

食堂や休憩室の窓は常に開けて、換気を徹底しています。



埼玉工場

食堂のトレーやカトラリーのそばにもアルコールスプレーを設置し、皆で使うものに触れる前や、食事前の手指消毒を徹底しています。



不二家は、省資源、省エネルギー、CO₂削減などの環境保全問題への取り組みを通して、より良い商品とサービスをお客様に提供できるよう努めています。ISO14001活動の中で、従業員の環境意識向上にも取り組んでいます。

環境方針

不二家は「環境基本理念」「環境基本方針」に基づいて、従業員一人ひとりが当社の果たすべき責任と役割を認識し、低炭素社会、循環型社会の実現に寄与する「地球にやさしい企業」を目指してまいります。また、積極的に地球環境、生態系への負荷を低減し、気候変動リスクを常に意識しながら生物多様性の保全と資源の有効活用に向けた取り組みを継続的に推進することにより、持続可能な社会に貢献してまいります。

〈環境基本理念〉

- この恵み豊かな地球環境を守り、健全且つ安全で自然環境を含む生態系が保全されることが人類共通の重要課題であると認識いたします。
- 株式会社不二家は「食」を通じて、人々の健全と安全を守るとともに、豊かさ、そして安らぎを育み、生活文化創造に貢献してまいります。
- 今後は、さらに事業活動のあらゆる側面で地球環境への負荷を最小限とするよう努力し、「環境との調和」を図るよう努めて、人と自然との共生を図り、「地球環境にやさしい企業」を目指して行動してまいります。

〈環境基本方針〉

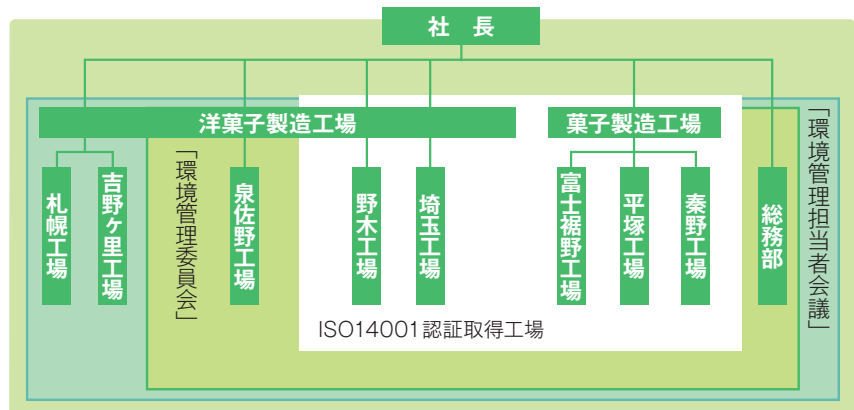
- (1) 事業活動、商品、業態、サービスなどがかわる著しい環境側面を常に認識し、環境汚染の予防を推進するとともに、技術的、経済的に可能な範囲で、環境目的、目標を定めて、環境保全活動の継続的な向上、改善を図ります。
- (2) 環境関連の法律、規制、協定などの厳守はもとより社会要請に応える環境管理体制の整備と充実を図ります。
- (3) 事業活動における省資源、省エネルギー、廃棄物の削減、リサイクルおよび環境汚染物質排出量の削減に取り組みます。
- (4) 地球における緑化、環境美化活動、環境保全への支援、活動に取り組みます。
- (5) 全従業員に対して環境教育や啓蒙活動を積極的に行い、環境保全に関する意識向上を図ります。

環境マネジメント

【マネジメント体制】

不二家では、環境方針を軸にISO14001に基づく環境マネジメントシステムを運用し、環境マネジメント体制の強化と、迅速な行動・コミュニケーション強化を図るため、各工場を社長直轄の体制としています。また、各工場には「環境管理委員会」を設置し、省エネルギーや廃棄物削減等の目標達成のための取り組みとパフォーマンス達成状況や環境関連法規の改正、遵守状況を毎月確認し、組織的に推進することで、継続的な改善を図っています。

さらに、全工場間の環境情報や取り組みを共有する目的で、「環境管理担当者会議」を定期的に開催し、目標や課題への具体的解決策を検討し改善への行動に結び付ける環境マネジメントを推進しています。



内部環境監査

ISO14001 認証取得工場では、ISO14001:2015年版の規格に基づき、各工場の内部環境監査員が相互に連携して監査を行い、環境マネジメントシステムが適正に維持されていることを確認しています。

内部環境監査の結果は経営層に報告され、環境マネジメントレビューの際の重要な資料となります。



菓子製造工場のISO14001認証審査の様子

環境教育・緊急事態訓練

環境マネジメントシステムの運用には、システムを運用する従業員一人ひとりの意識向上、適切な知識の取得が欠かせません。ISO14001 認証取得工場では、全従業員を対象とした環境教育を実施して、環境保全に関する知識レベルの向上に努めています。また、各事業所では、災害・事故などによる環境汚染の防止及び緩和を図るため、対応の手順を定めるとともに、緊急事態を想定した訓練を定期的実施しています。



泉佐野工場 緊急事態訓練の様子

Voice!

2018年6月に大阪府北部地震、2018年9月には台風21号を経験しました。泉佐野工場は大阪府北部地震では幸いにも大きな被害は無かったのですが、台風21号では工場屋上の排気ダクトが外れて地面に落下し、工場周辺の電柱が何本も倒れて停電が数日続きました。これだけ大きな災害の中、人的な被害が無かったことは幸いです。工場の復旧に向けて、皆が毎日頑張っていたことは記憶に新しいです。

正直、災害が起こったときは慌てるし、マニュアル通りには全然動けません。しかし、緊急事態訓練のように意識する場があるだけで、普段から防災のための準備をしなければというように、一人ひとりの災害に対する心構えが変わります。「災害に直面した時」以上に、「災害に直面する前」に重点を置いて、緊急事態訓練を行っていきます。



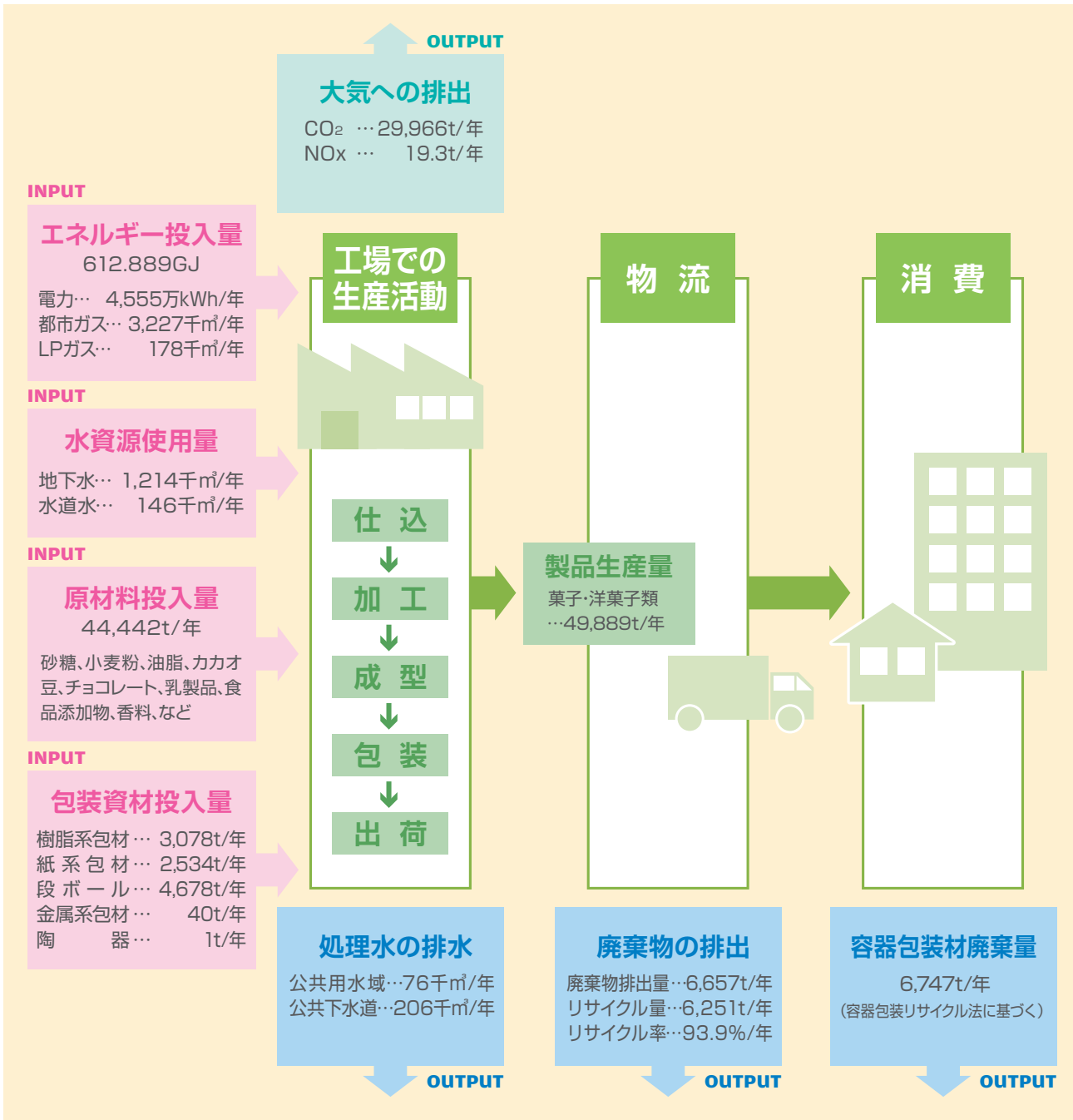
泉佐野工場 総務人事課 T. F

事業活動のマテリアルバランス

マテリアルバランスとは、事業活動におけるエネルギー及び資源の投入量(インプット)と、その活動にともなって発生した環境負荷物質(アウトプット)をあらわしたものです。

不二家では、事業活動にともなって発生する環境への影響を正しく把握し、環境負荷の低減に取り組んでいます。

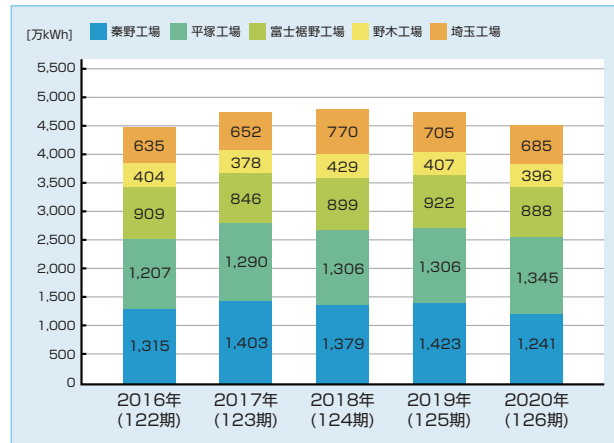
2020年度(秦野工場、平塚工場、富士裾野工場、埼玉工場、野木工場)のマテリアルバランス(2020年1月～2020年12月)



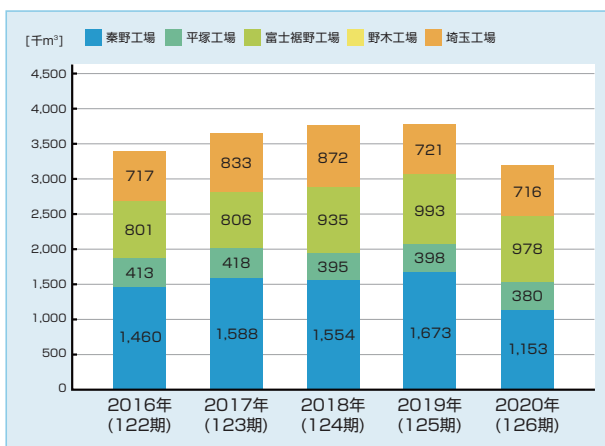
地球温暖化防止への取り組み

不二家は各事業所・工場において、省エネルギー設備の導入及び合理化や空調設備の運転方式の改善など省エネルギー対策に努めています。今後も、設備の整理統合や新技術の導入検討などエネルギー使用量の削減や合理化に積極的に取り組んでいきます。

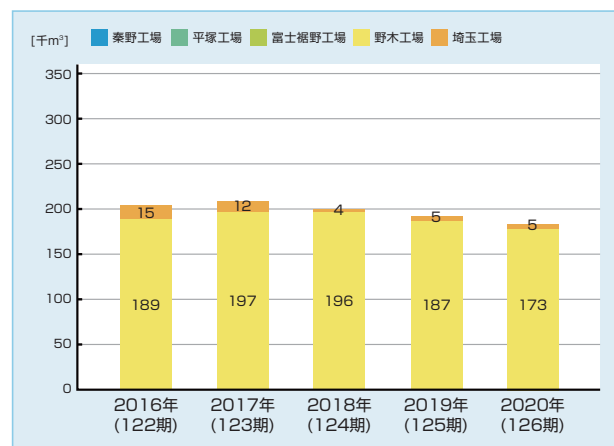
2020年度のエネルギー使用量は、2019年度と比較し電力の使用量は4.4%減少、都市ガスの使用量は14.8%減少、LPガスの使用量は6.9%の減少となっています。



電力使用量推移



都市ガス使用量推移



LPガス使用量推移

低炭素社会の実現

不二家の各工場では、CO₂の排出量削減対策として、冷凍・冷蔵機、空調機などの設備を環境負荷の低い設備へ順次、更新しています。

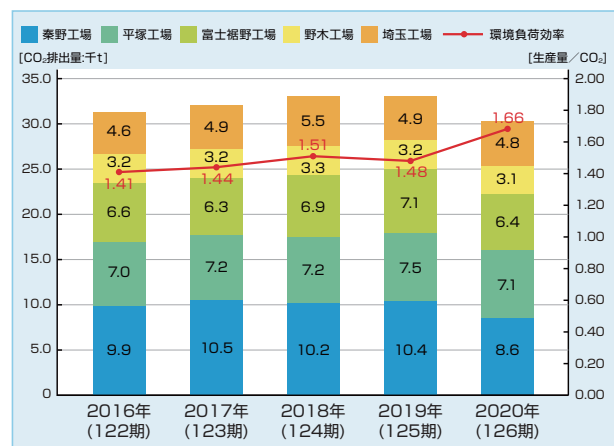
吉野ヶ里工場 太陽光発電による省エネ

吉野ヶ里工場の屋根上に、太陽光パネル1,100枚(203.5kWh)を設置し太陽光発電を行っています。

2020年9月に稼働を開始し4カ月間で76,552kWhの電気使用量を削減、CO₂換算で39.6t-CO₂を削減しました。



太陽光パネルを設置した様子



工場におけるCO₂排出量と環境負荷効率の推移

▶ 循環型社会の実現

環境に配慮した商品設計

製品の容器や包装については、製品をおいしく安全にお客様にお届けする品質保持の役割と省資源や廃棄時の環境負荷削減という環境配慮の両面から取り組みを進めています。

当社では、2020年には包装材料の削減(サイズダウン)や環境に配慮した包装材料の使用促進に取り組みました。

【紙包材の使用】



「Milky」の外装を、プラスチックから紙パッケージに変更しました。Milky一個包装もこれまでと同じ紙製を使用しており、脱プラスチックを実現しました。

【プラスチック包材の削減】

各個包装・外包装のサイズや厚みを見直すことによって、プラスチック包材の削減に取り組んでいます。



「アンパンマンペロペロチョコレート」
プラスチックトレイを薄肉化しました。



「カントリーマアムチョコまみれ」
外装の厚みを薄肉化することによってプラスチック包材を削減しました。

【環境配慮インキの使用】



「20枚カントリーマアム バニラ&ココア」
「40枚ホームパイ」

外装に植物由来のバイオマスインキを使用しています。

【洋菓子店舗ポリ袋】



洋菓子店舗では、バイオマスプラスチックを含んだポリ袋を使用しています。

【洋菓子店舗紙袋】



洋菓子店舗の紙袋には、環境に優しい水性インキと植物由来のバイオマスインキを使用しています。

【FSC® 認証紙の使用拡大】



紙製容器にはFSC®^{※1} 認証紙^{※2}への切り替えを推進し使用を拡大していく方針です。



※1 FSC® (Forest Stewardship Council®, 森林管理協議会) : 責任ある森林管理を世界に普及させることを目的とする、独立した非営利団体であり、国際的な森林認証制度を運営している組織。

※2 森林の管理や伐採が、環境や生態系、地域社会に配慮して適切に行われているかなどの、評価・認証を受けた原材料を使用した紙のことです。

【保管・輸送時の環境負荷低減】



各商品の段ボールケースの薄肉化や寸法を小さくするだけでなく、より多くの商品を積載できるように、無駄なスペースができない寸法に工夫し、保管・輸送に関わるエネルギー使用の抑止にも努めています。

各事業所における環境保全活動

【工場 校内外整備活動】 各工場では、工場外の清掃活動を実施しています。



秦野工場清掃活動の様子



清掃活動によって集められたゴミ

【秦野工場 不法投棄物の撤去活動】

秦野地区産業廃棄物対策協議会主催による不法投棄防止キャンペーンが行われ、東名高速道路側道周辺を清掃し、不法投棄物の撤去を行いました。



不法投棄物の撤去



不二家ファミリー文化研究所の活動

【黒姫「ペコちゃんの森」】

不二家ファミリー文化研究所は、自然環境保護活動の一環として、荒廃した森を購入し、その森を整備保護していただける団体にトラスト活動として寄付しました。

また、購入し寄付した森は、寄贈先のご理解を得て、「ペコちゃんの森」と命名し、継続的に整備活動への支援・参加をしています。寄贈先は、環境保護団体「CCC自然・文化創造会議 / 工場（議長 倉本 聡氏）」です。

この2,000坪強の「小さな森」は、熊笹や灌木の覆い茂った藪そのものでしたが、数年の手入れを経て、徐々に明るさを取り戻し、私たちは2012年にブナやミズナラを植樹しました。今後も定期的に不要な下草を伐採して地面に日光を導き、ブナやミズナラをはじめとする木や草が生い茂る明るい森を作っていくのが目標です。

自然に手を加えることによって、森にどのような変化が生じるのかを観察するのも、森作りの仕事のひとつです。私たちは、徐々に変化している「ペコちゃんの森」の様子を、定期的にウェブサイト内にてご報告しています。この森を通して、自然の力と人間の営みについて学びながら、森林の再生と保護、環境教育活動を継続して行っていきます。

【従業員による「ペコちゃんの森」整備活動】

不二家ファミリー文化研究所では、CCC自然・文化創造会議 / 工場様のご協力のもと、従業員有志による「ペコちゃんの森」の整備活動を定期的に行っています。

毎年7月頃に本社や支店・工場など、さまざまな部署の社員が参加し、長野県黒姫にある「ペコちゃんの森」の森林整備が行われていましたが、2020年度は新型コロナウイルス感染症(COVID-19)拡大防止の観点から、活動を休止しました。

整備活動はできませんでしたが、2020年11月に感染症対策を万全にし、少人数で「ペコちゃんの森」の経過観察に行きました。



2020年11月の「ペコちゃんの森」の様子

経営マネジメント

不二家は、コーポレート・ガバナンスの強化・充実を経営の重要課題の一つとして位置づけ取り組んでいます。当社は「社是」および「経営理念」に基づき、不断の努力により新しい価値と需要を創造するとともに、徹底した改善に絶え間なく取り組み、収益を確保することで、当社の持続的成長と中長期的な企業価値の向上を目指しています。

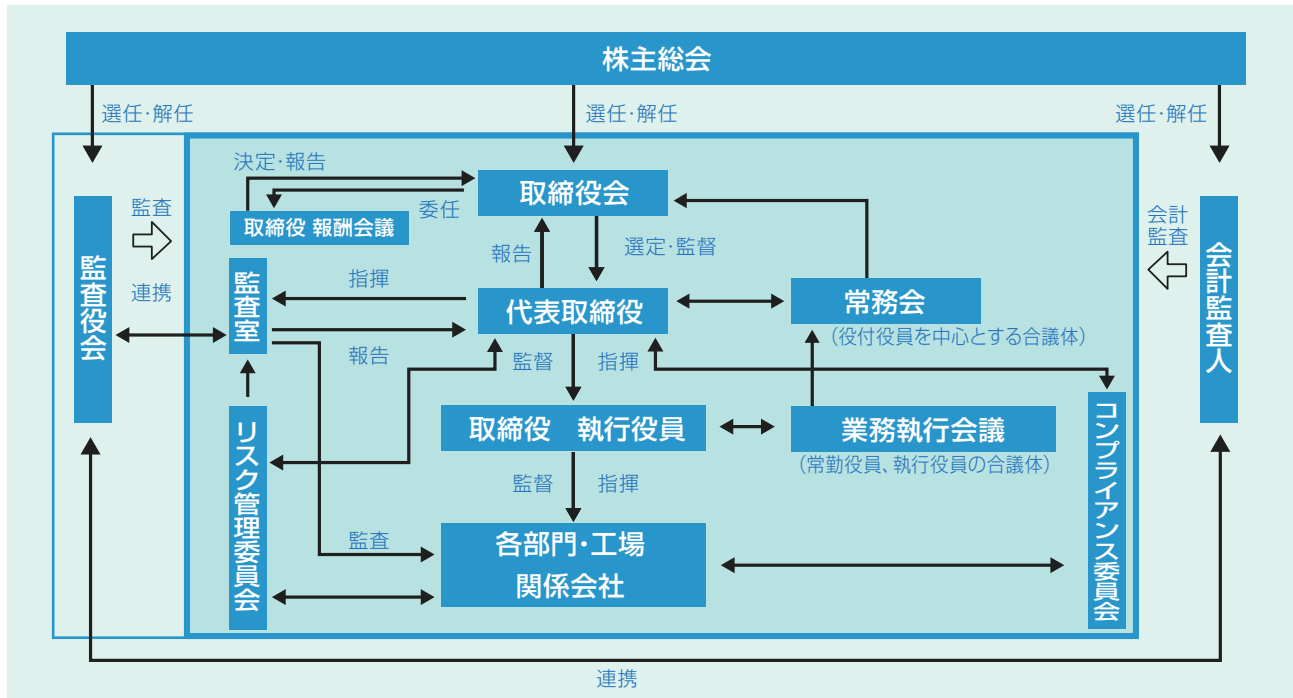
▶ コーポレート・ガバナンス と内部統制

コーポレート・ガバナンス

不二家は、企業価値向上を目指すためには、株主をはじめとするすべてのステークホルダーとの健全な協働関係を構築することが不可欠であると考え、企業経営の透明性と効率性の向上を図るとともに、コンプライアンス及びリスク管理の強化を推し進め、コーポレート・ガバナンスの更なる充実・強化に取り組んでおります。

当社は、取締役会が、代表取締役をはじめとした取締役、執行役員及びその他主要な職位にある者を指揮、監督し、それら全体を監査役が監督する体制を備えております。さらに、社外取締役は客観的かつ中立的な観点からの確かな助言と意思決定を当社の経営に反映させているとともに、社外監査役も専門的見地から公正かつ客観的に経営の妥当性を監督し、当社の監査機能の強化を図っております。

コーポレート・ガバナンス体制(模式図)



2020年度内部統制システムの整備・運用状況

当社は、企業会計審議会の示す内部統制の基本的枠組みに準拠して、「内部統制システムの整備に関する基本方針」を制定及び随時見直しを図り、内部統制の整備・運用を行っています。

2015年5月1日に「会社法の一部を改正する法律」(平成26年法律第90号)及び「会社法施行規則等の一部を改正する省令」(平成27年法務省令第6号)が施行されたこととともない、2015年7月29日開催の取締役会において「内部統制システムの整備に関する基本方針」の改定を決議し、改定しました。それに基づき、企業集団の業務の適正と監督及び監査の実効性を確保するため、グループ会社すべての会社に派生するリスクに対して、今まで以上にあらゆる可能性を認識し対応できるよう体制を強化し、内部統制システムを運用しています。

また、財務報告に係る内部統制についても、内部統制の基本的枠組みに準拠して整備運用していますが、財務報告への影響を勘案し、重要な虚偽記載の発生可能性がある事象に関しては個別に対応しています。

2020年度におきましては、再度システムを見直し、財務報告の信頼性を高め、財務報告の信頼性に重要な影響を及ぼす統制上の要点を選定し、その中で自己点検や独立の評価を適正に実施しました。

今後も、業務の適正を確保するために、あらゆるリスクを想定し体制をさらに強化することにより、内部統制の有効性を確保し企業としての社会的責任を果たしていきます。

コンプライアンスの推進

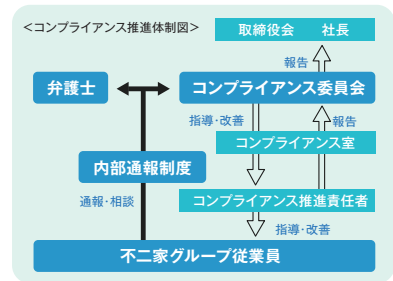
不二家はコンプライアンスを経営の基盤および重要課題と考え、公正かつ誠実な企業活動を行い、社会に対する責任を積極的に果たしています。

社会からの要請に応えるべく、コンプライアンスを「単なる法令遵守にとどめず、社内規程・ルールを守ることに加え、社会倫理にも適合していくこと」と捉え、企業価値向上を目指しています。

コンプライアンス推進体制

コンプライアンス活動を不二家グループ全体で徹底、推進していくため、取締役を委員長とする「コンプライアンス委員会」を設置し、全社的な方針の制定、事故発生時の原因調査と再発防止策の策定などを行い、その結果を必要に応じて社長、取締役会に報告及び提案しています。コンプライアンス室ではコンプライアンスについての意識付けや啓蒙教育を継続的に実施しています。

また、内部通報(コンプライアンス・ヘルプライン)制度を導入し、当グループの社会的信頼の維持及び業務運営の公正性の確保に努めています。



2020年度のコンプライアンス教育

従業員のコンプライアンスマインドの醸成・啓蒙は、企業価値向上のための最重要課題と位置づけ、コンプライアンス教育に積極的、継続的に取り組んでいます。2020年度は新型コロナウイルスの影響から集合教育がしにくい状況となりましたが、密を避けた少人数教育、WEB会議システムやビデオ動画の活用により実施しました。内容は、コンプライアンス意識の維持・向上や事件・事故の事例共有にとどまらず、コロナ禍の生活やメンタル面の注意点などでした。また、新入社員研修、階層別研修、店舗トレーニングなどにおいても、コンプライアンスの基本について教育し、従業員の意識向上に努めました。

内部通報(コンプライアンス・ヘルプライン)制度

グループ各社内の法令違反などの未然防止と早期発見を目的として、内部通報(コンプライアンス・ヘルプライン)制度を導入しています。

この制度は、不二家グループ各社内にある事案や行動が、法令・社内規程・ルール等に違反するかどうかなど、コンプライアンスに関する相談窓口としても機能しています。

この制度を従業員が活発に利用できるよう、全従業員に企業理念や連絡先が入ったコンプライアンスヘルプラインカードを配布しているほか、外部弁護士への連絡窓口を設けることで、通報や相談がしやすい環境作りにも努めています。

リスクマネジメント

リスクマネジメント体制の整備

不二家は食品企業として、常に「食の安全」を最優先の課題とし、食品事故の未然防止と製品の安全性を向上させるため、AIB(American Institute of Baking) 国際検査統合基準による指導監査システムを導入するなど、徹底した食品安全管理体制の確立を図っています。

そのほか、事業活動に重大な影響を及ぼす恐れのある「経営リスク」・「事故・災害(環境) リスク」などに対して、事前にリスクの特定・分類・分析・評価を行い、適切に対応するために「リスク管理委員会」を設置し、迅速かつ最善の対応を図る体制を整備しています。また、必要に応じて、顧問弁護士などの専門家に助言・指導を求めています。

重大な製品事故や職場での災害リスクが顕在化した場合や、顕在化が予想される場合には、社長が委員長を務める「危機管理対策委員会」を召集し、迅速な対応を図る危機管理体制を整備しています。

東日本大震災を契機に、本社・工場では防災意識の向上と避難訓練を実施することはもちろんのこと、営業・工場の主要拠点15ヶ所に衛星電話を設置し、緊急時の連絡体制を整備しています。

情報セキュリティ対策

情報資産を過失、事故、災害、犯罪などの脅威から守り、社会とお客様の信頼に応えるため、情報セキュリティ基本方針を定めています。業務遂行上必要な情報資産について、適切なセキュリティ対策を講じ、不正アクセス、漏洩、改ざん、紛失・毀損などが発生しないよう予防を図っています。

問題が顕在化した際には、速やかに是正するように組織と体制を定め、その役割と責任者を明確にしています。また、関連諸規程並びに情報セキュリティ体制の評価と見直しを定期的・継続的に行い、適切に管理しています。

不二家のあゆみ

創業の精神

横浜開港後の山下町に外国人居留地が、山手に山手居留地がそれぞれ設けられ、両地区を結ぶ場所にあった元町通りには、当時は日本には珍しい喫茶店やベーカリー、洋服店、洋風家具店などが軒を連ね、文明開化を支えました。

そんな新しい文化を、いち早く吸収してきた街、横浜元町で創業したのが不二家です。当時ではとてもモダンなローマ字「FUJIYA」の看板を掲げ、1910年に創業した不二家は、「進取の気風」で栄えてきました。

不二家の作った菓子は、居留者の外国人にとっては『懐かしい母国の味』、横浜に住むマダムにとっては『珍しくて新しい文明開化の味』でした。不二家の商品や喫茶を楽しむ時間は、彼女たちの至福の時間でした。

不二家は、ただ単に食料を売っていたのではなく、海外の菓子や喫茶を通して、「心の豊かさ、笑顔の生まれる時間」を提供していたのです。

年	主な出来事
1910年	藤井林右衛門(25歳)が横浜市元町2丁目86番地に洋菓子店を開店
1918年	シュークリーム、エクレアなどの販売を始める
1922年	ショートケーキの販売始める(1個8銭) クリスマス製品も販売する
1923年	銀座6丁目店開店
1934年	フランスキャラメル発売
1935年	チョコレート・キャンディの生産開始 ハートチョコレート発売
1938年	株式会社第二不二家を設立 資本金20万円 合名会社不二家を合併 資本金60万円 株式会社第二不二家の商号を、株式会社不二家と改称
1950年	不二家のアイドル「ペコちゃん」誕生 年齢6歳
1951年	ミルクィ発売 「ペコちゃん」のボーイフレンドとして「ポコちゃん」誕生する 年齢7歳
<p>ミルクィがヒット</p> <p>1951年、水飴と練乳、この二つの製菓材料を使用し、洋菓子製造で得た乳の知識を生かしてようやく完成させた新しい味が「ミルクィ」でした。練乳を50%近く使い、思い切ってまろやかな味を出した、全く新しいおいしさ、豊富な栄養、廉価という3拍子が揃った当時としては信じられないほど贅沢で新しいお菓子でした。この商品は「ミルクィ」と名づけられ、洋菓子店で販売するや否や、たちまち話題になりました。当時から、洋菓子店店頭飾られ人気を得ていた「ペコちゃん」をパッケージに使ったことも功を奏し、大ヒット商品となりました。創業者の藤井林右衛門は、多くの子供たちに、おいしくて栄養のある菓子を届けたいという想いから設備を整え、1952年から一般流通への卸売(全国発売)を始めました。「ミルクィ」は洋菓子屋として創業した不二家が、卸売事業に参入するきっかけになった商品でした。</p>	
1952年	ソフトクリーム国産第1号を銀座6丁目店で売り出す クリスマスセール開始
1954年	パラソルチョコレート発売・ポップキャンディ発売
1956年	バレンタインセール開始
1959年	平塚工場(神奈川県平塚市)完成
1960年	モンドセレクション当社第1回の商品出品で金賞をとる
1962年	東京、大阪、名古屋の各証券取引所市場第二部に株式上場 LOOKアラモード発売 札幌工場(北海道札幌市)完成
1963年	フランチャイズ第1号店 京都伏見店開店
1964年	ネクター発売
1965年	東京、大阪、名古屋の各証券取引所市場第一部に株式上場 オバQシリーズ発売
1968年	ホワイトデーセール開始 ノースキャロライナ発売・ホームパイ発売 秦野工場(神奈川県秦野市)・埼玉工場(埼玉県新座市)完成
1969年	野木工場(栃木県下都賀郡野木町)完成
1971年	泉佐野工場(大阪府泉佐野市)完成
1972年	英国ロントリーマッキントッシュ社と技術援助契約を締結(現在は契約解消)



不二家のあゆみ

年	月	主な出来事
1973年		キットカット発売 ビーアールジャパン株式会社(現B-Rサーティワンアイスクリーム株式会社)を設立し、アイスクリームチェーンに着手
1976年		米国ペプシコ社と合併会社不二家フリトレー株式会社を設立、スナック食品部門に進出(現在は契約解消)
1978年		株式会社不二家ロードサイドレストラン(現株式会社不二家フードサービス)を設立 ロードサイドレストラン1号店 川口青木店開店
1979年		米国ハーシーフーズと技術援助契約及び輸入総代理店契約締結(現在は契約解消) ピーナッツチョコレート発売
1982年	3 11	仏国ソシエテ・ヌーベル・ダロワイヨ社と技術援助契約及び輸入総代理店契約締結 自由が丘にダロワイヨ1号店を開店 フランチャイズチェーン導入の貢献により通商産業大臣賞受賞
1984年	7	カントリーマアム発売
1989年	6 10	不二家とネスレ社との間で合併会社ネスレマッキントッシュ株式会社を設立(現在は契約解消) 株式会社ダロワイヨジャポン設立
1990年	6 —	富士裾野工場(静岡県裾野市)完成 アンパンマン商品発売
1992年	—	ネクター食品ヒット大賞「ロングセラー賞」受賞(日本食糧新聞社主催)
1994年	6 11	「ペコちゃんのほっぺ」発売 九州工場(佐賀県神埼郡吉野ヶ里町)完成(現吉野ヶ里工場)
1997年	4	不二家ウェブサイト開設
1998年	5	不二家キャラクター人形の「ペコちゃん」「ポコちゃん」が立体商標第一号として特許庁より認められる
2000年	2 5 9 11 12	「環境宣言」の制定 /ISO14001 認証取得の取り組み開始 容器包装リサイクル法に対処 ネスレマッキントッシュ株式会社の株式売却 埼玉工場 全ボイラーを小型貫流ボイラーに転換 富士裾野工場 廃棄物焼却炉廃止
2001年	3 4 8	カフェテリアプラン制度導入 富士裾野工場 ISO14001 認証取得 埼玉工場 全小型貫流ボイラーを都市ガス化
2002年	4 10 11 12	平塚工場、秦野工場 ISO14001 認証取得 埼玉工場 廃棄物焼却炉廃止 「不二家 行動規範と行動指針」の制定 野木工場 廃棄物焼却炉廃止
2003年	3 4 4 6 7 7 8 10	平塚工場 全小型貫流ボイラーの都市ガス化 野木工場 ISO14001 認証取得 不二家ファミリー文化研究所設立(以下ファミ文研という) 大阪、名古屋 各証券取引所への上場廃止 コンプライアンス委員会設置・コンプライアンス規程制定 環境報告書を初めて発行 ファミ文研 ペコちゃんの森トラスト活動開始 埼玉工場 ISO14001 構築・運用開始
2004年	2 6 10	不二家(杭州)食品有限公司を中国現地法人として設立 秦野、平塚、富士裾野各工場を統合し湘南工場発足 埼玉工場 ISO14001 認証取得
2005年	7 7 12	個人情報保護基本規程制定 ISO9001 認証取得の取り組み開始 秦野工場 全小型貫流ボイラーの都市ガス化



不二家のあゆみ

年	月	主な出来事
2006年	1	「品質方針」の制定
	3	泉佐野工場 廃棄物焼却炉廃止
	4	定年退職者再雇用制度開始
	6	ISO9001 認証取得(菓子事業本部、品質保証部、調達部)
	10	秦野工場 汚水処理施設の汚泥減容化装置を稼働開始
	10	泉佐野工場 ISO14001:2004 認証取得
2007年	10	湘南工場を菓子3工場(秦野工場、平塚工場、富士裾野工場)に組織分離
	1	「『外部から不二家を変える』改革委員会」発足
	1	「信頼回復対策会議」発足
	1	富士裾野工場 ボイラー・オープン設備を都市ガス化(環境省:自主参加型国内排出量取引制度に菓子業界として初の参加)
	2	AIBフードセーフティの取組開始
	2	山崎製パン株式会社と食品安全管理体制整備の支援に関する覚書を締結
	2	秦野工場・平塚工場・富士裾野工場 AIB 監査 一定の評価を得る
	3	山崎製パン株式会社と業務資本提携を締結
	3	埼玉工場・泉佐野工場・九州工場・野木工場 AIB 監査 一定の評価を得る
	4	山崎製パン株式会社に対する第三者割当増資を実施
	5	「外部から不二家の発展を見守る会」発足
	6	CSR 推進部・食品安全衛生管理本部設置 / 内部統制システム構築着手
7	フード連合様を通じ菓子製品在庫の無償提供を実施	
12	「企業理念」「行動規範」改訂	
2008年	1	ISO9001 認証登録維持・継続(菓子事業本部、食品安全衛生管理本部、秦野工場、平塚工場、富士裾野工場、施設部、購買部)
	1	「不二家食品安全の日」制定・第1回「不二家食品安全の日」式典
	4	内部統制システム運用開始
	6	本社部門移転に伴い、本店所在地変更
	6	富士裾野工場 CO ₂ 排出枠(2007年度分) 300tを償却(環境省:自主参加型国内排出量取引制度)
	10	食に関するオピニオンリーダーによる工場見学(秦野工場) 実施
	11	山崎製パンと新たな業務資本提携を締結(山崎製パンの子会社となる)
2009年	1	第2回「不二家食品安全の日」式典
	2	「不二家生産方式」の確立に向けた「本物の5S」活動開始
	5	富士裾野工場が食品リサイクル率100%を達成
	6	平塚工場操業50周年記念式典
	8	銀座ペコちゃんミュージアム開催(期間限定:8/24～9/6)
	9	障がい者雇用優良事業所表彰を受ける
2010年	1	第3回「不二家食品安全の日」式典
	1	平塚工場が食品リサイクル率100%を達成
	2	富士裾野工場が「食品産業CO ₂ 削減大賞」(主催:㈱日本総合研究所 後援:農林水産省) 優良賞を受賞
	4	埼玉工場 埼玉県食品衛生自主管理優良施設として確認票交付
	創業100周年記念事業	
	8	「ペコちゃんの歌」発表(作曲・編曲:久石譲、作詞:久石麻衣)
	8	「ペコちゃんスマイルコンテスト」最終審査&授賞式
	9~10	「ペコちゃんが行く!不二家キャラバン隊」(児童施設77ヶ所訪問)
	11	「おしゃべり店頭ペコちゃん人形」登場
	11	「銀座ペコちゃんミュージアム」開催(期間限定:11/1~11/21)
	11	秦野工場が「神奈川県地域共生型工場等」として神奈川県より表彰



不二家のあゆみ

年	月	主な出来事
2011年	1	第4回「不二家食品安全の日」式典
	4~5	ペコちゃん被災地訪問(福島県いわき市、岩手県、宮城県)
	7	夏場の節電対策実施
	8	「銀座ペコちゃんミュージアム」開催(期間限定8/19~9/4)
	12	「銀座ペコちゃん・Winter shop」開催(期間限定12/10~12/25)
2012年	1	第5回「不二家食品安全の日」式典
	1	東日本大震災時の食糧支援に対し、農林水産省より表彰
	3	第1回「不二家防災の日」式典
	6	埼玉工場で火災発生
	8	銀座ペコちゃん サマーフェスタ開催(8/24~9/2)
2013年	1	第6回「不二家食品安全の日」式典
	1	「スマイル運動」開始
	4	ひろしま菓子博2013に参加
	6	第2回「不二家防災の日」式典
	8	銀座ペコちゃん サマーフェスタ開催(8/23~9/1)
2014年	1	第7回「不二家食品安全の日」式典
	2	『「スマイル運動」推進のための5S活動報告会』開催
	4	株式会社スイートガーデンが不二家の完全子会社化
	6	第3回「不二家防災の日」式典
2015年	1	第8回「不二家食品安全の日」式典
	5	ミラノ万国博覧会のサテライト企画にペコちゃんが協力
	6	第4回「不二家防災の日」式典
	7	平塚市美術館にて「ペコちゃん展」開催(7/11~9/13)
2016年	1	第9回「不二家食品安全の日」式典
	2	日本食料新聞社より「ミルクィー」がロングセラー特別賞を受賞
	6	第5回「不二家防災の日」式典
	9	東日本大震災被災地支援食品販売会を実施
	12	台湾にFC一号店オープン
2017年	1	第10回「不二家食品安全の日」式典
	4	お伊勢さん菓子博2017(4/21~5/14)に参加
	6	第6回「不二家防災の日」式典
	9	文京区子ども宅食プロジェクトに協力
	10	野木工場「栃木地方産業安全衛生大会」で表彰
	11	秦野工場「神奈川県環境保全功労者表彰」で団体表彰
2018年	1	DALLOYAU(ダロワイヨ)の日本国内における商標権を取得
	1	第11回「不二家食品安全の日」式典
	3	銀座数寄屋橋不二家広告塔(現ペコちゃんビジョン)をLEDビジョンへリニューアル
	6	第7回「不二家防災の日」式典
2019年	1	第12回「不二家食品安全の日」式典
	3	不二家サンヨー株式会社が不二家飲料果実株式会社へ社名変更
	6	鳥取県と食に関する連携協定を締結
	7	カントリーマアム発売35周年
	8	不二家洋菓子店でペコちゃんチャレンジ開始
2020年		不二家創業110周年 ペコちゃん生誕70周年
	1	第13回「不二家食品安全の日」式典
2021年		ミルクィー発売70周年
	1	110周年プロジェクト『私が創る未来の不二家コンテスト』グランプリ 「ペコちゃん保育園設立プロジェクト」発足
		第14回「不二家食品安全の日」埼玉工場にてリモート開催、動画配信
	4	株式会社スイートガーデンが株式会社不二家神戸へ社名変更





株式会社 不二家

〒112-0012 東京都文京区大塚 2-15-6

ウェブサイト <https://www.fujiya-peko.co.jp/>



© FUJIYA CO., LTD.

本報告書記載記事の
無断転載・複製を禁じます。

■お問い合わせについて

お便りの場合：〒112-0012 東京都文京区大塚2-15-6 株式会社不二家 広報IR部
Eメールの場合：不二家ウェブサイト内のお問い合わせ専用フォーム内をご利用ください。